

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 8 月定例会

2 開 催 日 時

令和元年 8 月 21 日（水）8 時 30 分開会 9 時 33 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、青木教育総務課長、中島学校教育課長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、竹下生涯学習課参事、井上学校教育課主幹兼教育相談係長兼指導主事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

6 人

8 経 過 報 告

7 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

7 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 19 号 議会の議決を経るべき議案の原案について 【承認】
(令和元年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算)

議案第 20 号 平成 30 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について 【承認】

議案第 21 号 令和 2 年度以降に使用する小学校教科用図書の採択について 【承認】

議案第 22 号 令和 2 年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について 【承認】

11 協議報告事項

(1) 教職員の措置について

(2) 令和元年度全国学力学習状況調査について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 9 月定例会 令和元年 9 月 11 日（水）8 時 30 分から

○天野教育長

それでは皆さん、おはようございます。8月の1、2日は九州地区の教育委員会研修大会大分大会ということで、各委員の皆様お疲れ様でございました。また、古澤委員におかれましては教科書採択の協議ということで、2日間本当に御苦勞をおかけしました。

早いもので夏休みの方もですね、来週の月曜から2学期のスタートということで、宿題や課題とかあと4日間ありますけど、今頑張っているのかなと思います。一番心配してるのは、やっぱりスタートと同時にいろんな事案が起こるということで、何もなくこの26日が始業式スタートできればなというふうに思ってます。

こうした中ですけれども、後で報告があると思いますが、市村自然塾の方では自然体験学習ということで30名、それからこれは教育委員会じゃないんですけども、社会福祉協議会主催で小学校ふれあいスクールに55名来ておりました。それから、中学校もボランティアスクールに38名、本当にたくさんの子供が来てましたし、やまびこ研修団の対馬は30名ということで台風で非常に心配をしておりましたが、しっかり体験をして帰ってきておりました。また、今年の夏も鳥栖小の自転車競技は全国で9位ということです。すごいですよね。それからバレーに陸上にドイツのツァイツ市の交流事業で中学生が4名、いろいろなことで市長表敬等も来てくれておりましたけれど、本当によく頑張ってるなというふうに思いました。

児童生徒の交通事故報告は中学校で1件のみということで、これは始まるとちょっと報告もあるのかも分かりませんが、今のところ1件ということで安心していきます。

それでは、ただいまより教育委員会の8月定例会を始めます。経過報告をお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい。ありがとうございます。たくさん行事がこの7月、8月に行われておりました。この行事等につきまして、何か御質問等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。はい。

それでは、次に行きます。2議事録承認。議事録につきましてはお手元に議事録の要旨を作っておいておまして、また何かありましたら執行部の方へお願いしたいというふうに思ってます。ということで、議事録了承よろしくお願いたします。

それでは、議案に入ります。議案第19号議会の議決を経るべき議案の原案について、よろしくお願いたします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○松隈生涯学習課長兼図書館長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。今回の9月補正に関する部分については教育委員会の分はこれのみでございますけれども、資料も作ってきておまして、何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。西法寺の修復はもうこれを見て分かるんですけど、修復して立派になってということで、これは瓦のみをやってるということですか。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

瓦を中心にしております。

○天野教育長

このブロックは大丈夫ですかね。これは文化財じゃないですね。いや、ちょっと気になりまして。委員の皆さんいいでしょうか。はい、ということで、今回の議案第19号の議会の議決を経るべき議案の原案ということで、御承認いただくということで結構でしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、議案第20号平成30年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価についてお願いします。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

説明に入ります前に、点検評価報告書の作成にあたりまして、今回も福岡女学院大学の伊藤副学長、久留米大学の徳田教授にはお忙しい中、貴重な御意見・御指摘をいただいておりますこと、感謝申し上げます。それでは説明いたします。

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。議会の方に提出ということになっておりますけれども、報告書にしっかり2人の先生から評価を書いていただいておりますね、非常に貴重な御意見もたくさんあるように思っていますが、委員の皆様から御質問・御意見等あったらお願いします。ちょっと時間をとりたいと思います。はい、副田委員。

○副田教育委員

8ページの生涯学習の「図書館外事業の充実として」というところで、「朝読を実施している学校と連携をとりながら」と書いてありますが、実際に朝読をしている学校が何校ぐらいあるのか、もしもそれがはっきり分かるようでしたら教えてくださいたいと思います。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

朝読を実施している学校数としては、まだ把握はできておりません。小学校を中心に、月曜日とか週の朝の時間を活用して朝読、または地域の方々の協力をいただきながら読み聞かせ、これを同時に行っているというのが現状です。同時にといいますのが、例えば低学年におきましては読み聞かせ、中学年以降につきましては朝読というふうな形をとっている学校が中心かと思っております。数としては把握しておりません。申し訳ございません。

○天野教育長

副田委員いいですか。

○副田教育委員

はい、ありがとうございました。質問いたしましたのが、今小学校を中心に朝読が始まっておりますが、とてもいい効果が現れているので、それで中学校とか高校とかそういったところにも波及させてはどうかといういろいろな意見が出ておりますので、それで数の確認をさせていただきました。ありがとうございました。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。本当に昔はよくドリルとかいろんなことをさせたりしたんですけれども、それじゃなくて1時間目の授業のスタートを朝読が終わってすっと落ち着いて入れるようにしようということで、小学校8校あるんですけれども、どこの学校でも読み聞かせも含めて何らかの形で朝読をやっていますね。それ

は中学校についても、最近は特に中学校の方がやるべきじゃないかなという意見もあって、例えば西中にしても読み聞かせをやってますし、そういった形でやっぺいこう、啓発していこうというような声はよく聞いてますので、これも広げていくべきじゃないかなというふうに思ってます。戸田委員。

○戸田教育委員

御指摘の2つ目のところで情報発信の話がされてます。以前から指摘されていろいろ検討されていることだとは思いますが、現状、これまでの指摘を踏まえてのことでも結構ですので、どのような検討がなされているのか、あるいはこれを踏まえてどのようなことが考えられるのか、ホームページの情報発信ですね、お話いただけないでしょうか。

○天野教育長

はい、眞子係長。

○眞子教育総務課総務係長

はい。御指摘の2番目のホームページの部分につきましては、本日情報政策課の方と打ち合わせをさせていただくことにはなってるんですけども、例えばSNS等を通じたとか、あるいはフェイスブック等を通じたりとかいろいろ考えられることがあるかと思しますので、そういった部分も踏まえまして、情報発信のあり方というのを検討していきたいというふうに思っているところでございます。以上です。

○天野教育長

ちょっとあんまりはっきりしないような感じでもあったんですけども、いいですか。

○戸田教育委員

どの情報を出すのかも含めてなかなか難しい問題だと思うんですけども、一方で教育委員会が何をしてるんだっていうのはいつも問われることですので、この指摘はごもっともだと思うんですね。何か、あまり負担のかからない形できちんと定期的に情報が出せるような方法をぜひ積極的に考えていただけないかなと思います。なかなか簡単ではないと思うんですが、よろしくお願いします。

○天野教育長

はい、貴重な御意見いただき本当にありがとうございます。平成29年度の事務点検の4ページを見ていただくと、昨年度も言われてるんですね。もっとホームページを活用してということも含めて情報発信できないかということも指摘をされて、1年間やってきてまた今回もそういうことを指摘されているということもあります。この辺については実はホームページがすぐじゃないんですけども、何年か先に更新するということを聞いております。一緒にやったらいいんじゃないかなということもあるんですけども、このことについてはやっぱり情報発信は非常に大事な部分であるので、教育委員会としてやっていくべきじゃないかなというふうに思ってますので重く受けとめております。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。同じ関係になりますけれども、ホームページでの発信というのも大変重要でありますけれども、年齢が上の方に対しては、そういうアクセスは案外されない部分があるでしょうから、紙ベースですと、市報がありますので、市報の中でもっと教育委員会の部分を確保して、せめて何期かに一度ぐらいは大きな動きをお知らせするっていうのも併せて必要じゃないかなと思っております。よろしくお願ひいたします。

○天野教育長

はい、分かりました。市報のスペースもなかなか厳しいんですよね。特集を組んで、例えばはじめの問題とか、コミュニティとか、鳥栖市教育の日とかいろいろやってきたんですけども、何ページのこれぐらいでお願いしますということなので、やっぱりその辺はもう少しこっちも見通しをもって、これで行こうと1年間の計画を踏まえながらやっていくべきだなと思います。貴重な御意見いただき本当にありがとうございます。他にいいでしょうか。はい、吉原委員。

○吉原教育委員

事務点検報告書案の中ですね、15ページの「UDの視点を取り入れた授業実践」という中の中盤以降ですね、令和元年度につきましては特に板書の構造化等々を徹底的に図っていく方針ですと書かれていて、この「板書の構造化」というのがどういうものか、ちょっと詳しく教えていただければと思います。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

はい、ありがとうございます。UDの視点を取り入れた学習の中で板書の構造化というのは、やはり板書が一つの授業の流れが見て分かるというところが大切になってくるというふうに考えております。そのために、最初に学習の目当て、末尾には学習のまとめ、これがきちんと授業の流れに沿って、「構造化」という言葉を使っていますけれども、どこに何が示されてるというのがどの授業においても統一されているというところを、今現在進めているところです。もちろんその中には児童の考えをいくつか示しながら、その児童の考えがどういうふうにまとまっていったのか、そこまでをひとつ構造化として捉えております。そのために、最初に目当てがわかるように㊦というカード貼る、まとめのところには㊧というカードを貼る、こういったカードまで統一した形で、どの授業においても同じ見方ができる、それがユニバーサルデザイン化っていうところで捉えて、今現在その指導を進めているところでございます。以上です。

○天野教育長

吉原委員いいですか。特にUDの視点を取り入れた授業の実践というのは、今年で3年目になります。教育委員さん方も学校訪問に行かれて見て回られていると思うんですが、我々が指導主事の指導の中でよく言うのが、統一的に組織的にやってくれということです。今古賀参事が言ったようにばらばらにやるんじゃなくて、1年生から6年生がみんな同じように記号化したものを使いましょうとか、中学校にしても見通しを持たせ、今授業のどの部分ですよとか、振り返りをしましょうとか、こういったことをやってくださいということで、大分これも3年目になってできてきたなというふうに思ってます。こういったことを通しながらですね、授業力の向上とか、学力の向上に向けてということをやっていますので、これからも頑張っていくかなとちゃいけないというふうに思ってます。他にいいでしょうか。それでは、議案第20号平成30年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価についてということで、みなさん御承認いただくということでいいでしょうか。はい、どうもありがとうございます。

それでは次にいきます。次は議案第21号令和2年度以降に使用する小学校教科用図書の採択についてと、議案第22号令和2年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について、この2議案について合わせてお願いします。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい。ありがとうございます。こういうことで採択されたということになりました。今言ったように、中学校の方は来年度に新学習指導要領にのっとった形での教科書採択ということで、また来年度しっかりやらなくてはいけないというふうに思っています。小学校の方はこれだけが採択の理由ではないんですけども、一応こういった形で採択理由を述べてもらいました。委員の皆様方の目の前に実際教科書を置いておまして、見ただけでも厚さ等さまざまなサイズに驚かれたんじゃないかなと思いますけど、何か御質問とか御意見とか、ちょっと興味を持ったところであるとか、あったらどうぞどしどしとお願いします。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

それでは、選定委員として関わらせていただきましたので、一言お話をさせていただきます。今中島課長の方から丁寧な説明がございました。もうその通りです。昨年場合は道徳が新しく教科に取り入れられるということで、それに特化したような選定会議だったかなと思ってるんですけども、今回は今お話があったように、ボリュームがとても多くございました。担当された課長はじめ、古賀参事、井上主幹、大変だったろうなと思っております。私どもよりも、研究部会の方で校長先生方、先生方が甲乙つけ難いような状況がある中で、しっかりとこれはこうだからということで見極めをしていただいて、最終的に私たちが2日間みっちり会議をさせていただいたときには数社に限定して上がってきておりました。前さばきをしていただいた先生方に感謝をしております。

審査に当たっては今話があったように、児童生徒の主体的な学習意欲、それが高まるかどうか、それとももちろん先生方が教えやすい、子供たちも手に取って勉強しやすい、意欲がわいてくる、また紙面の大きさや明るさや文字の大きさ、色合い、そういった部分をしっかりと審議しました。うちの天野教育長は委員長でしっかりと会を仕切っておられたんですけど、随分と意見を私も言わせていただきましたし、出ておりました。また、言い漏れておりましたけれども、例えば本が2つに分かれたりする場合があります。そういう場合、ばらばらになって問題はないか、教えるにくくはないかという細かいところまで詰めておりますし、デジタル教科書、それとの絡みの兼ね合いも随分と質問が出ておりました。そういったことを経て、慎重に審議をさせていただいて選定をさせていただいたということを御報告させていただきます。以上です。

○天野教育長

立派にまとめていただきました。ということで、こういうふうな形で教科書を採択したということになりますけれども、委員の皆さんいいでしょうか。それでは、まず議案第21号の令和2年度以降に使用する小学校教科用図書の採択については御承認いただくということでいいでしょうか。はい、ありがとうございます。続きまして、議案第22号令和2年度以降に使用する中学校教科用図書の採択についても御承認いただくということでいいでしょうか。はい、どうもありがとうございます。

それでは次に、協議報告事項に移ります。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。これはここで報告をした後の措置ということに

なっております、今回のこの中学校の先生は見ていただいたように、4月2日の辞令交付式の後に事故を起こしてあるということだったんですね。だからかなり本人もショックを受けてあったということですけど、過去のこういった措置歴があったということも含めて、今はもうしっかり運転もしていただいているということですけど、文書訓告でやるということなんです。今のところ、今年度になって加害が8件、被害が5件で13件ということになってます。夏休み期間中非常に心配もしておりますけど、夏休み期間中2件加害事故が入ったということなんです。480名近く県費職員がおりますのでいろいろとあるようなんですけど、また今後もしっかり指導していきたいというふうに思っています。

では次に、令和元年度全国学力学習状況調査についてお願いします。古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。随分詳しく説明していただいて、また見ていただいて、何か御質問・御意見等ありましたらお願いします。点検評価の報告案というこの分厚いやつの12ページをちょっと見ていただいているのでしょうか。こういった形で、この12ページに昨年度の状況について載っております。やっぱり年によって上がったり下がったりするんですね。福井県とか毎年すばらしい成績を上げているというような状況もあるんですけど、これで見ると、昨年は小学校6年生も中学校3年生も非常に全国平均を上回ったという結果が出てまして、その前の年は全国のトップレベルぐらいまでいったという話もしたかというふうに思っています。今回の中学校の特に3年生については、先ほど古賀参事が話しましたように、非常にどこの学校の中学3年生も学力的には低い部分があって心配をしております、12月の県の学習状況調査の実態を踏まえながら指導をするという形をとっておりますけど、やっぱりなかなか伸びきってない部分があるなというふうに、それはもう認識をしております。鳥栖市の子供たちの状況はいつも話をするように、小学校のときは全国をかなり上回るんですけども、それから約1割以上の子供、約100名ぐらいが県立の中学校とか私立の中学校に出ますので、その後、1年かけ2年かけ向上して3年生のときには全国・県レベル以上のところまで持って行くんですけど、今回はなかなか伸びてないということなんです。しかし、古賀参事が話しましたように、経年比較をずっと見ていくとですね、頑張ってる部分もあるということですので、もう一度ここについては今度の校長会でもありますけど、しっかり分析をして、やっぱりこの中学校3年生の目標は最後の受験ということですので、それに向けてしっかりまた頑張っていきたいというふうに思っていますので、よろしく御指導をお願いしたいというふうに思っています。それでは委員さん方いいでしょうか。

それでは次に今後の予定に入ります。はい、青木課長。

○青木教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。それでは今後の予定ということで、何か委員の皆様からありましたら、いいでしょうか。

それではこれもちまして、教育委員会8月定例会を終わります。皆さんどうもありがとうございました。